

令和2年度第1回我孫子市総合教育会議 概 要

■件 名／令和2年度 第1回我孫子市総合教育会議

■日 時／令和2年7月29日（水）16：00～17：00

■場 所／教育委員会 大会議室

■出席者／星野市長、倉部教育長、長谷川教育委員、足立教育委員、蒲田教育委員、村松教育委員、廣瀬総務部長、丸教育総務部長、木下生涯学習部長

（教育総務課）森田課長、尾高主査

（指導課）戸塚課長、中山課長補佐、人見指導主事

（学校教育課）鈴木課長

（生涯学習部）菊地次長兼生涯学習課長

（秘書広報課）飯田参事、高見澤主幹、安武主査長

■傍聴人／3名

■協議・調整事項

1. 我孫子市のGIGAスクール構想について

我孫子市のGIGAスクール構想について、事務局（指導課）から説明を行い、意見交換を行った。

（意見交換）

- ・ 説明の中でグループ学習にもタブレット端末を活用できるという話があったが、今は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校でもグループ学習をしづらい状況にあることが、残念である。松戸市にある専門学校でも、感染予防に非常に気を遣っていたものの、授業時にグループ学習を実施したことによりクラス内で感染者が拡大してしまったと聞いている。
- ・ 6月補正予算で、タブレット端末約2100台分の予算を措置し、発注している。現段階では各学校1学年で1人1台となるが、今後、約9000台を目標に整備していく。一方で、インターネット環境の整備が追い付いていない状況にある。
- ・ 目標は1人1台とのことだが、これは学校の授業でのみ使えるのか、それとも家に持ち帰って使うことができるのか。
- ・ 今のところ、学校で十分な活用を図ることを目標としている。

- ・ 家庭への端末の貸し出しについても学校が休校中に検討し、家庭へのアンケートの結果、16%の子どもが家庭で、子ども専用で使える環境にないことが分かった。ネット環境のない家庭のために、無線LANのルーターを100台用意することも考えているが、通信費の負担や子どもが学習に関係のないサイトを閲覧したらどうするかといった課題がある。
- ・ タブレット端末を導入し、どのようなソフトを使い、どのように授業をしていくか、楽しみにしている。
- ・ 中学生くらいになると、タブレット端末を持ち帰って授業の振り返り等で活用していくことも必要になってくるのではないかと。また、家庭でオンライン授業を受けられるようになると良いのではないかと。
- ・ 大学では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため学内への立ち入りを制限し、オンライン授業を取り入れているようだが、教員からは学生が自宅でちゃんと授業を聴いて勉強をしているのか確認しづらいことが課題と聞いている。
- ・ タブレット端末を子どもたちが自由に使える環境になることを期待している。自由に使えるようになることで、大人では発想できないような使い方が出てくるかもしれない。そうすると子どもたちの学びが飛躍的に伸びるし、深い学びにもつながるのではないかと。
- ・ 今後のICT教育で「コミュニケーションシステムの構築」という説明があったが、具体的にはどのようなことを考えているのか。
- ・ eライブラリやコラボノートなどの学習コンテンツを使って、子どもたちが自分の考えをまとめ、先生に送信するなどの機能の活用を図っている。現在は、さらなる双方向のコミュニケーションができるようなシステムのマニュアルを作成しており、学校に配布していく予定である。
- ・ コンピューター教室を整備した際に、1台の端末を子どもたちが自由に使えるようにしたところ、子どもたちの学びが飛躍的に伸びた。教員のなかにもパソコンの得手不得手があるため、教員への研修も必要になってくると考えている。
- ・ 授業見学をすると、1人でどんどん進められる子どももいれば、1つ1つ教えながらではないと進められない子どももいる。子どもに合わせた授業も必要になると考える。
- ・ 目標どおりに整備を進めることは難しいかもしれないが、1人が1台を自由に使っている姿を見ると、学びにつながっていると感じられた。ぜひこ

れからも整備を進めてほしい。

- ・ Zoomを使って個人面談を行っているところもあるので、そのような利用も必要と考える。例えば、今回の新型コロナウイルスに対する保護者の不安感が、子どもにも伝わるので、オンラインで顔を見ながら話すことも大切になるのではないか。
- ・ 様々な教科で多様な使い方ができると思うので、19校で情報を共有できる場を教育委員会で設けてほしい。
- ・ 学校図書のデータ化も検討中であり、1人1台が実現すれば、子どもたちが自分たちの学校だけでなく、他校の学校図書も探しに行けるのではないかと期待している。
- ・ せっかくタブレット端末を導入するので、ぜひ多様な使い方をしてほしい。それと合わせて、子どもたちがインターネット上に氾濫する情報から正しいものを取捨選択できるように教育していくことも重要である。
- ・ 各教室に導入した50型テレビも約10年が経過し、更新が必要なものも出てきているが、まずはタブレット端末を優先して導入し、その後、テレビの更新を順次行っていきたいと考えている。

■その他

○我孫子市中学生広島派遣について

8月10日から12日まで、中学校5校から9名の生徒を広島へ派遣し、広島平和記念資料館の見学や被爆体験講話などを通じて、戦争や原爆について学び、平和の尊さを考える機会をつくること等について情報を共有した。また、出発前から体温測定等の健康管理を行うこと、派遣中にマスク着用や手指消毒、体温測定を行うことなど、新型コロナウイルス感染症への対策についても合わせて説明した。